

就任にあたって

愛知県支部 支部長 杉浦 小百合 (新城保健所)

令和 2 年度全国保健師長会愛知県支部長を務めさせていただくことになりました。支部長の役は大変身に余るものですが、役員一同で協力して責務を果たしていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

令和 2 年の年明け以降、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、全国保健師長会愛知県支部の定期総会は、初めての書面総会となりました。各職場でも、事業や会議の自粛や会議等も書面や Web などの新たな対応で取り組みがなされております。愛知県では 8 月に再度独自の新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言が出されました。新型コロナウイルス感染症の対応で追われている保健所に対して市町村保健師の協力もいただけて、同じ公衆衛生を守る保健師としてありがたく、心強く思うと同時に感謝の気持ちでいっぱいです。この場をかりて、お礼申し上げます。

さて、全国保健師長会は、昭和 54 年に保健師業務の進歩発展と会員相互の連携親睦を図り、もって地域住民の健康づくりに寄与し、我が国公衆衛生の向上に資することを目的に発足しました。平成 30 年度の 40 周年を経て、さらなる一步を重ねています。

令和 2 年度全国保健師長会活動テーマは「未来を創造する公衆衛生看護活動の展開～保健師活動の原点から住民とともに創る未来～」です。統括保健師の役割の明確化や現任教育の充実などの取り組み、ブロック・支部での主体的な情報交換や研修の推進、災害時における保健師活動マニュアルの活用促進、入会促進等に取り組むこととしています。

コロナ禍の状況のもと、保健師長会愛知県支部の活動をどうしていくのか、先を読み、適切な選択をすることの難しさを痛感しております。今まで当たり前としてやられてきたことが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を最優先に考え、様々な情報が氾濫する中で、冷静に状況判断し情報を取捨選択しながら対応していくという行動が必要になってきています。どんな形で行うことが最善なのか、活動テーマを意識した取り組みや支部活動が前向きに展開できるよう努めていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。



メッセージ



「ピンチをチャンスに！！」 愛知県保健医療局健康医務部医療計画課 担当課長 竹島 久美子

保健師長会の皆様、日ごろから保健行政にご協力いただきありがとうございます。また、市町村の保健師長の皆様におかれましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のために県保健所への応援派遣についてご協力いただき、重ね重ね感謝とお礼を申し上げます。

今、私達は新型コロナウイルス感染症の発生というとても困難な時に保健師活動をしています。「公衆衛生の教科書に、記され語られ歴史に残るだろう」と専門家の方が口にされます。保健指導、相談、健康診査や健康教育等々、今まで培ってきた保健師のスキルの無力さを感じることもあるかと思っております。

一方、社会に目を向けてみると、ICT を利用した会議・研修・相談・教育が驚異的な勢いで人々の中へ浸透しています。生活習慣指導の継続確認等に活用できそうです。リモート会議も時間削減につながりそうです。保健師活動に役立ちそうな良いことも有りそうですね。

日頃より、保健師長会の方々には、ご指導ご協力に感謝申し上げます。

はじめに、新型コロナウイルス感染症によりお亡くなりになられた方々にお悔やみを申し上げるとともに、治療に専念されております方々に対しまして、心よりお見舞いを申し上げます。

公衆衛生への大きな脅威となっている新型コロナウイルス感染症により、当協議会研修等の計画変更も余儀なくされています。この感染症対策をはじめ、母子保健施策及び児童福祉施策、高齢者保健福祉施策、生活困窮者の健康支援施策など私たちに課された課題は多くあります。多岐にわたる健康課題に向け、新たな生活様式を取り入れながら、今後とも保健師長会の皆様とともに保健師の資質向上を目指し、連携を図ってまいりたいと存じます。引き続き、ご指導ご協力の程よろしくお願いいたします。



「コロナ禍の保健活動の現状や取り組む中で思うこと」

「新型コロナウイルス感染症の軽症者等が療養を行う宿泊施設」の立ち上げから

愛知県保健医療局健康医務部医療計画課 池田 久絵

3月末、突如「新型コロナウイルス感染症の軽症者等が療養を行う宿泊施設」となるあいち健康プラザの立ち上げのためのプロジェクトメンバー（事務、薬剤師、保健師、看護師計10人）の1人として活動を開始することになりました。4月9日の開所までに、感染症専門家のアドバイスをもとに何度も施設に足を運んでのゾーニング（清潔、不潔区域の区分け）、新型コロナウイルスと闘う「武器」であるマスク、エプロン、ゴーグル等の調達、運営するスタッフの業務マニュアルの作成等、急ピッチで準備を進めました。

開所後は、「入所期間が長くなって、気が狂いそうだ。」と訴える感染者の不安、「感染の危険性はないのか、家に帰って家族と過ごして大丈夫か……。」とたたずむ応援職員の不安をぬぐうべく相談対応を行いました。

今回の経験は、感染者の生の声、応援職員の新型コロナウイルス感染症に対する受け止めの声を聞く機会となりました。「不安を抱える人への寄り添った支援」という保健師の基本は、働く場所、状況は違っても、共通であることを感じた6週間でした。

コロナ禍の保健活動の現状や取り組む中で思うこと

常滑市福祉部健康推進課 入山 佳代子

今般の新型コロナウイルスの感染拡大には、いきなり本番が来た！といった感覚を多くの保健師が感じたことと思います。更に、海外で発症事例が確認されてから国内で発症するまでの猶予が短い！ということも実感。思い返せば、常滑市の新型コロナウイルス感染症対策会議は1月下旬が第1回、その頃はまだその後の状況を想像もできませんでしたが、2月下旬からはほぼ毎日のように会議が続きました。一方、健康推進課では各種教室、健診の一旦延期を決め、その連絡などイレギュラーな対応に日々追われましたが、その中で個別的な対応は止めず、むしろ必要なケースには介入を継続しました。また、手洗いや免疫力アップのための規則正しい生活習慣などは、今まで保健師がやってきた保健指導の基本であるという公衆衛生魂に火をつけられた感覚と、反対に庁内で感染症対策を進めていく上での危機感の違いも実感しました。この経験を必ずつなげていく！今はそんな思いで、業務に追われながらも、職員の頑張りに感謝と嬉しさを感じる日々です。





「保健師さんは、何でもできる！」

一宮保健所健康支援課 服部 明子

7月27日我が保健所管内のコロナウイルス PCR 検査陽性者十数名、それ以後も陽性者が続き、濃厚接触者は鼠算式に増えていきました。

それまでも感染症診査会事務や、昼は食事時間を削り夕方から深夜帯や休日も電話相談、検体搬送に対応していた保健師でしたが、7月下旬からは、PCR 検査結果連絡、積極的疫学調査(22 時過ぎに終わったことも)、検体採取の御案内、陽性者の自宅待機中の健康観察・管理・病院との調整、診療所からの PCR 検査依頼に対応など、業務も鼠算式?に増えていきました。

「保健師さんは、〇〇も〇〇もできる。」と持ち上げられ?保健師全員で対応しました。

この中で、小さい子どもがいる短時間勤務の保健師が休日・夜間勤務を申し出てくれ、歯科衛生士さんや栄養士さんも「何かやれることはするから。」と申し出てくれ(今では電話相談もしっかり対応しています)、良い仲間に恵まれました。感謝!感謝!の日々です。

多様な情報発信によるコロナ禍の介護予防

豊田市保健部地域保健課 鈴木 稚佳子

豊田市では、平成20年度から介護予防事業「元気アップ教室」を開催しており、令和2年3月末で206団体、3,630人が自主グループ活動を行っています。

本事業は、新型コロナウイルス感染症の重症化リスクが高い65歳以上の方が対象のため、感染拡大防止の観点から今年度の開催を中止しました。しかし、長引く自粛生活で筋力の衰えや認知機能の低下がさらに進行する恐れもあるため、市公式ホームページやケーブルテレビ、ラジオ放送、チラシ、DVDの貸出し等、自宅で取り組める体操や介護予防に関する情報発信を多様な広報媒体で周知しています。

また、次年度からの教室が安全に再開できるよう、「新しい生活様式」を踏まえて教室内容を見直し、マニュアルの整備や従事者への説明、必要物品等の準備を進めています。感染リスクを回避しながら、コロナ禍でも高齢者の目線に立って安全性を確保し、住民主体の通いの場を整備していきたいと考えています。

コロナ禍における保健行政について

豊橋市保健所健康政策課 井川 紀世香

本市では、帰国者・接触者外来の負担軽減およびPCR検査の検体採取を効率的、集中的に実施するため、検体採取機関であるPCR検査センターを設置しました。設置には、地域の医療機関の理解と協力が必要であるため、市医師会及び関係医療機関との検討を重ね、検査センター設置の必要性を共有しました。その中で検査センターの運営を市医師会へ委託することとなり、検体採取の医師、看護師の配置や地域の医療機関から検査センターへの予約の流れ等、具体的な運用について協議をしながら決定をしていきました。

今回の検査センターの設置に関して、もともとの業務の中で培った関係があるがゆえ、理解、協力体制を作ることができました。日ごろからの他(多)機関との関係性の構築が大切だと強く感じ、他(多)機関との関係性の構築は地域力の向上を図り、保健行政の推進につながることを改めて感じています。



令和2年度全国保健師長会の主な事業の報告とお知らせ

令和2年度愛知県支部総会

日時：令和2年6月12日（金） 書面審議

●書面審議結果をもって議決されました。

議案	承認	不承認
第1号議案：令和元年度事業報告	221名	0名
第2号議案：令和元年度決算報告	221名	0名
第3号議案：令和元年度監査報告	221名	0名
第4号議案：令和2年度活動方針・事業計画（案）	221名	0名
第5号議案：令和2年度収支予算（案）	220名	1名
第6号議案：令和2年度役員選出	221名	0名

○令和2年度役員

役名	氏名	所属	
支部長	杉浦 小百合	新城保健所	
副支部長	戸田 輝子	津島保健所	
	吉本 清美	大治町	
ブロック幹事	名古屋	市川 多香子	愛知県健康対策課
	尾張東（書記）	柘植 由美	東海市
	尾張西	城谷 睦	岩倉市
	西三河（会計）	山本 幸子	衣浦東部保健所
	東三河	成瀬 和歌子	蒲郡市
監事	石田 洋子	春日井保健所	
	長谷川 永子	一宮市	

○愛知県支部会員数 計225名

ブロック	計	県	中核市	市町村	その他
名古屋	12	12	0	0	0
尾張東	42	10	0	32	0
尾張西	61	11	0	50	0
西三河	50	6	34	9	1
東三河	60	10	22	28	0
計	225	49	56	119	1

☆全国保健師長研修会（書面研修）

令和2年11月中旬予定

☆全国保健師長会代議員総会

令和2年11月21日（土）書面審議

全国保健師長会愛知県支部研修会予定

第1回研修会

【日時】令和2年11月14日（土）午後2時から3時45分まで（受付：午後1時30分～）

【場所】今池ガスビル 7階 ダイヤモンドルーム

【講演】新型コロナウイルス感染症の最新情報

【講師】公立陶生病院

臨床検査部長兼感染症内科主任部長兼

感染制御部感染制御室主幹

武藤 義和 氏



※当日受講できなかった会員に、WEB受講を検討中です。

※今後の状況により中止・延期になる場合があります。